



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：唐澤千明 副会長：池田幸平 幹事：市川修次 公共イメージ向上委員長：杉本徳治

	<p>2019-2020 国際ロータリーのテーマ  <b>ロータリーは世界をつなぐ</b>                  Rotary Connects The World</p>	<p>2019-2020 RI会長                  マーク・ダニエル・マローニー                  &lt;アラバマ州 (米国)&gt;</p>	
<p><b>第1526回例会 令和2年2月18日(火)</b></p>			

■ 点 鐘 12:30

■ ソング それでこそロータリー 馬場秀則ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介 ・支援留学生 グェン ティ テュエット ニュン 様

■ 会長談話 唐澤千明会長



新型コロナウイルスによる感染者が増加するなか、日本においても80代の女性の死亡を確認しました。中国では感染者が70,548人、死者は1,770人となりまだ勢いは止まりません。2月15日で国内での感染者初確認から1ヶ月経ち、未だ終息の見えない状況です。今までの水際対策をかいくぐって市中感染が広がっている可能性があり、厚生労働省は早期発見・治療に重点を置いた国内対策の強化を急ぐとし、膨大な追跡調査に力を入れるのではなく、国内で重症患者を早期に発見して、対症療法を施す態勢の見直しが必要になるとしています。

このように心配される時期ですが2月9日～12日の4日間ベトナム研修視察に7名が行って来ました。国際奉仕委員長の宮原委員がニュンさん卓話の紹介時に視察研修の報告がありますが、私も参加しましたので基本的なことと、気が付いたところを話してみたいと思います。

正式国名はベトナム社会主義共和国で首都ハノイ、人口約9,370万人でベトナム語しか通じない国です。この時期北部地区は冬にあたり15～20℃です。

ベトナム最大都市ホーチミン（1100万人）は南部地区、ハノイ（700万人）は北部地区で、2泊したハイフォンは400万人の第3の都市です。ハノイから高速道路で2時間くらいの港町です。民間資本が入っていて、商業施設や高層の分譲マンションが数十棟と建ち並んでいて活気のある町です。現在の平均月収は2,5万円から3万円と聞きましたが5~10年後には倍増の可能性もあるのではないかと思います。かなりの元気ある町です。

世界遺産のひとつであるハロン湾に行き、クルーズ観光をしました。静かな海面から2,000もの岩がそそり立つ風光明媚な景観は幻想的です。船上で味わった海鮮料理は格別おいしくいただきました。このハロン湾も新型コロナウイルス感染により、いつもは約80%が中国からの観光客で賑わっていますが、寂しい状況とのことでした。

あと、ハノイ旧市街に11～19世紀に栄えたベトナム王朝の城が築かれたタンロン城遺跡や、1969年に亡くなったホー・チ・ミンの遺体が安置されているホーチミン廟（びょう）の見学、なお首都を

ハノイにしたのはホー・チ・ミンであったとのこと。

ニュンさんにおかれては、ハノイ空港から3日目の午前中（ニュンさんのご自宅）まで同行して頂きありがとうございました。

#### ■ ニコニコボックス

- ◆唐澤千明 ニュンさん、ベトナム研修では大変お世話になりました。
- ◆市川修次 ニュンさん、本日は卓話を宜しくお願い致します。
- ◆下井達典 インターアクトの台湾交流で大変お世話になった元米山奨学生の三回忌法事に台北へ行って来ました。マスク+消毒液携行でしたが、台北市内もほぼ100%マスク姿でした。法事と帰国後2週間の外出自粛と合わせ、いい体験ができました。
- ◆清水吉治 先日の演奏会、大勢の声援をいただくなかで無事終了できました。メンバーもお忙しいなか参加していただき有難うございました。
- ◆宮原英幸 ニュンさん、ベトナムでは大変お世話になりました。今日は卓話を楽しみにしています。
- ◆井上修 今年も工場の改築をしております。大型の重機がうなり声を上げダンプが忙しそうに行き交っています。人一倍優しく、且つ激しく働いている方がおられ、誰かなと思って近づいてみたら池上幸平社長でした。この人も働くんですね。

#### ■ 幹事報告 市川修次幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



#### ■ 委員会報告

##### ・2月8日（土）地区インターアクト委員会（於：松本市Mウイング）の報告

矢野昌史地区IA委員（代読：井上修青少年奉仕委委員長）



1. 青少年交換・インターアクト合同研修実施報告
  2. インターアクト地区研修協議会 4月19日（ホスト：伊那西高校）
    - ・予算 250,000円～弁当代・会場費の支払い
    - ・各学校からのマイクロバス台数～福祉センターに予約
    - ・交換留学生とインターアクト生によるパネルディスカッションについては、藤澤委員長さんをお願いする。
    - ・午後の分科会～（案）ガバナーの方針、奉仕活動アドバイザーをお願いする。国際理解（留学生）
- \*コロナウイルスの状況によっては中止になる。

##### 3. インターアクト地区大会 6月14日（ホスト：下伊那農業高校）

- ・予算 600,000円
- ・参加予定者～約275名
- ・大会テーマ「みんなの未来。わたしたちが出来ること」

■ 出席報告 会員数48名 出席免除会員5名 長欠会員2名 本日出席者23名 事前メイク4名  
出席率65.85% 前回出席率 修正なし

## ・ベトナム研修報告

宮原英幸国際奉仕委員長



## 【行程概要】

期間：令和2年2月9日（日）～2月12日（水）

日程：9日 早朝セントレア空港よりノイバイ空港（ハノイ）へ  
ハノイ市内（ホーチミン廟・タンロン遺跡など）からハイフォンへ移動

10日 ハロン湾クルーズ・石灰岩洞窟・オペラハウスなど

11日 ハイフォンより、途中市中のスーパーマーケットに寄って買い物、留学生ニュンさん実家を經由してハノイへ戻り、国際HVTC人材開発(株)の日本語教育センター、ノイバイ空港

12日 深夜便にて早朝セントレア空港着

参加者：唐澤千明、馬場秀則、伊澤和男、小椋文成、宮澤豊和、宮下健、宮原英幸、以上7名

我々7名は上記のような行程でベトナム研修に参加しましたので、簡単に報告いたします。

今回は信州大学農学部支援留学生ニュンさんの帰国に合わせての日程が組まれたものです。

新型コロナウイルス蔓延が心配される中を出国しましたが、天候はほぼ連日曇り（雨季らしい）、しかし気温は15度から22度程度で、むしろ涼しさを感じるほどでした。時差が2時間なので時差ボケのようなことは全くありません。食べ物は、香辛料や割と癖の強い葉物類（パクチーなど）が豊富で、麺類他日本人の我々の口にも比較的よく合うものでした。肉類・海鮮類などありますが、水道の生水は飲めず（飲料水ペットボトル1本が1米ドルほど、現地通貨で約2万ドンです。100円＝2万ドン、コインはありません。桁が大きすぎて戸惑います。）、したがって食事時はひたすらビールとワインです（地元ビールもおいしいです。）。

ハノイ初日は、バイク・スクーター（ホンダ製が多い）とクラクションの多さに圧倒されました。家中が一台のバイクに乗っている光景もびっくりですが、重要な交通手段になっており、突然異文化を体感します。また工業化・開発も急ピッチに進められており、社会主義国とはいえ将来が展望されます。

今回のトピックを二つ紹介します。

## ①ニュンさんの実家に寄りました。

日中にも関わらずお母さんや近所のおばさん・子供にまで歓待を受けました。きっと暖かい家庭・地域で育ったのだろうと想像します。

## ②日本語研修センターに寄りました。

ここは会員の宮沢さんの会社に来日予定の方がいる縁だそうです。丁度我々帰国予定の当夜、同じく日本に向けて発つという20歳前後11名の明るい女性たちが迎えてくれました。何とそれも長野県大町市(ホクト(株))に来るというのです。期間は3年らしいです。はっきりとした日本語で、しかも皆で覚えたという日本の歌(365日の紙ヒコーキ)で迎えてくれたのにはびっくりしました。6か月集中で日本のことを学んだそうです。ここでは普段は250人ほどが学んでいるそうです（もちろん職業実技研修まではしません。）。日本にはベトナムから毎年30万人ほどが働きに来るようですが、希望は多いが政府の許可がすぐ出ないそうです。

“日本企業が嫌う人材”というパネル掲示が壁にありましたので、紹介します。

1. 上司に報告・連絡・相談しない。
2. 他人と協調せず、自分一人で行動する。
3. いつも指示を待っていて、指示がないと仕事をしない。
4. 自分の目で確認しないで、頭の中だけで推測する。
5. 責任がない、意欲がない、ウソや言い訳をする。

そのほか、基本たる5S標語（整理・整頓・清掃・清潔・躰）とかも貼られていました。朝5：30起床、夜11時就寝の寮生活です。

東南アジアの中でも一人当たり国民所得はまだ高くはない国（人口は約9300万人、月収平均2万から3万円。所得格差の広がりがある。）とのことです。しかしたまたまコロナウィルスの関係で中国人観光客がおらず、あまり日本人も行かないような路地にも入ってみると、ニュンさんのように向学心に燃える優秀な学生や希望に満ちた人々のエネルギーを、まさに肌で感じました。ベトナム語はとうとう“シンチャオこんにちは”と“カムオンありがとう”以外全くわからぬままでした。

追伸：と言ってもスマホの言語変換アプリはそれなりに役に立ちます。

## ・卓話 支援留学生 グェン ティ テュエット ニュン 様



みなさん、こんにちは

ベトナムから参りました、グェン ティ テュエット ニュンと申します。私の趣味は読書、アニメ、漫画と研究です。2016年3月25日に来日して、もうすぐ4年間に経ちました。現在、信大院農学専攻先端生命科学分野に所属されています。

この間、伊那中央ロータリークラブの7方と一ベトナムで旅行しました。そのため、今日は皆様の代わりに、私が代表として旅行のことを報告させていただきます。

ベトナムの首都ハノイに着いたら、タンロン王城遺跡に行きました。2002年に新国会議事堂の建設にあたって、偶然発掘された遺跡群です。それはベトナムの最初の民族王朝の都、タンロンの宮城の跡です。発掘が進むに連れ、ベトナム諸王朝の客時代の遺構が重なるように眠る遺跡とわかり、2010年に世界文化遺産に登録されました。現在にも発掘調査が続き、観光できる世界遺産区域は端門から正北門までです。その遺跡群の中で1967年に反米抗戦時、革命家やD67地階が建てられました。そのところで、政治部、国防部と中央軍事委員会が集まって、戦略について相談したようです。

次は、ハノイ旧市街に行きました。かつてこの一帯は銀を売る店、線香を売る店、漢方（かんぼう）を売る店など36の組合によって支えられていたことから36通りと呼ばれるようになりました。

翌日の朝からハロン湾に行きました。ハノイからハロン湾まで約180kmぐらい離れ、1994年と2010年にユネスコの世界自然遺産に認定されました。ところで、天から降り立った龍がこの地に脅かす外敵に倒すために口から吐いた玉石が、湾内に浮かぶ奇岩へ形を変えたという伝説が残されています。ハロン湾のシンボルは二羽の鶏が愛をささやきあうように見える奇岩です。違う方向からみたら、魚の形になって、非常に面白いと思います。ハロン湾で最も美しい洞窟はティエンクン洞窟です。1990年に発見され、高さは20m、幅10mほど大きさでそれほど広くはありませんが、様々な色にライトアップされている姿が幻想的で人気です。

実家について紹介させていただきます。ハイズオン県の面積は約1648km<sup>2</sup>で、2019年までの人口は約189万人です。気候は亜熱帯です。ハイズオンといえば、勉強の土地です。コンソン寺はコンソン山の山頂に位置し、1304年に建てられた歴史のあるお寺です。グェンチャイ、トラングエン・ダン等の有名な廷臣がここに住みそうでしたので、神殿があります。別の建築は、マオディエン文学の神殿です。そのところでは、ベトナムの昔の偉い方などを祭ります。国立学校のように15世紀からたてられて、知識層が庭でござを敷いて、勉強したそうです。いくらの博士、修士を育ちました。

ハイズオンでは様々な名産がありますが、その中で最も名物を紹介します。一つは、バン。ダウ。サン（緑豆菓子）が知られるようになったのは約100年前のことで、ベトナムの西郷の封建時代であるグェン王朝の王様であるバオダイ王がハイズオン県を訪れた際、地元の人々は王様に緑豆に砂糖、動物性脂肪を混ぜて作ったおもちを献上しました。も一つは、ベトナムでライチ栽培が最も盛んなのは、北部バクザン県のルックガン群ですが、味が特に美味しいとされるのはハイズオン県のタインハー群ものが有名です。ライチは、花が3月に咲き、6月にみります。収穫の最盛期は6月中旬から7月中旬までです。どの農家も2週間ほどの短期間で、一気に果実を収穫してしまいます。5年前の値段はたかに1kg50円でしたが、海外に輸出されるようになったため、現在に1kgはだいたい200—300円ぐらいです。

実家である大きな工場を見せたかったが、外人として、入れにくいようですので、少しだけ紹介させていただきます。ホアンタックセメント工場は1977年5月に建て始め、1980年に成立されました。その時にこの工場は最も現代でした。

1984年に最初のセメントバッグが出来ていました。現在この工場は16部門、2企業と一つ直属工場で

す。私の父は今機会運用部門で働いています。  
 時間をよろしかったら、ぜひベトナムにお越しください。



■ 総会 伊那中央ロータリークラブ細則の変更案について

■ 点 鐘 13:30

次回例会  
 2月25日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店  
 ・卓話 (株)VC長野クリエイティブスポーツ 代表取締役 笹川星哉様  
 ・例会終了後:理事会